

日本共産党 西宮市会議員

佐藤みち子

活動だより 2016年10月



議員団控室 Tel.0798-35-3368 fax22-7815
自宅 高須町1丁目 1-7-5-206 Tel.42-2856

介護保険は国家的な詐欺となりつつある



介護保険は次々改悪

介護保険制度の改悪に厚生労働省で介護保険の制度設計を担当した職員から「団塊の世代にとって介護保険は国家的な詐欺となっていくように思えてならない」との発言があるほど介護保険は、ひどい制度になってきました。

国は、2025年、団塊の世代の人たちが75歳を迎え社会保障費が大きく増えると給付を抑えようと高齢者に負担を押しつけています。

保険料は年金から有無を言わず取り続け、介護を取り上げる。安心して老後を迎えたい「誰も願ひです。制度の持続のためと言うのなら大企業や大資産家から税金をもっとたくさん払ってもらうべきです。

来年4月から 総合事業が始まる

2017年4月からはじまる総合事業。9月議会では、そのことに関する条例が市長から提案されました。日本共産党市議団は要支援1・2と認定された人たち

軽度者（要介護2以下）の福祉用具自己負担やめよ 「意見書」全会一致で採択！

国は要介護2以下の軽度者の福祉用具貸与、住宅改修についても原則1割から全額自己負担にすることを検討しています。

市では69%の人が要介護2以下の軽度者です。歩行器や手すり等の福祉用具が自己負担になれば転倒、骨折等が発生しやすくなり、要介護度の重度化を招くことになると「改悪やめよ」の意見書を市議団が提案。全会一致で採択。

から専門家の介護をとりあげることになると反対しました。

2015年度決算は33億円の黒字

国民健康保険 基金条例改正へ

国民健康保険料は高すぎるため、市議団は一般会計からの繰り入れで引き下げることの繰り返し提案してきました。

市は2008年度から2億5千万円、2012年度からは10億円の繰り入れを実施してきました。

2015年度は23億円もの基金があるにもかかわらず保険料の引き下げを実施せず、一般会計からの繰り入れを7億円に減額しました。

決算ではさらに基金が積み上がり27億円にもなっています。

市議団は基金を活用して保険料の引き下げを求めてきましたが、市は保険料負担軽減のために活用できるよう「基金条例」を改正すると一般質問で答弁しました。



2015年度
決算は、一般会
計、特別会計を
合わせると歳入
総額2634億
8872万円、
歳出総額260
0億3104万
円で実質収支額
は33億4506
万円の黒字とな
りました。

財政基金、減債基金の総額は221億円を維持、これに加え公共施設保全基金15億円、アサヒビール跡地購入貸付金55億円、西宮北有料道路整備の県貸付金12億円等を合わせると330億円を超える資金余裕となります。
国が悪政を押し進めるなかこの財源を市民の暮らし応援にどう生かすかが問われます。

介護保険の改悪に思うこと

「介護殺人」「介護心中」「介護難民」「介護離職」等々、最近では「介護」をめぐる悲惨な事件が次々と起こっています。

私の母は要支援1。1割負担で歩行器を借りています。夕方、1時間ほど散歩に行くのが日課ですが、歩行器があるからこそ家族が付いて行かなくても自力で散歩ができています。

ケアマネさんもデイサービスの職員も、福祉用具の業者さんも「福祉用具の全額自己負担はやめてほしい」と口を揃えて言います。

保険料は取りながら介護を取り上げる「国家的詐欺」のようなことはやるべきではありません。はんたいの声を上げましょう。